

木と生きる幸福



# 住友林業グループ 持続可能な経営にむけて



# 住友林業の歴史～現在まで約330年～

江戸

明治

大正

昭和

平成

令和

1868

1912

1926

1989

2019



別子銅山



荒れてしまった銅山



鉱石を溶かして銅をつくる技



住友政友

1691

創業(銅山の開坑)

1894

大造林計画



現在の別子山



木材を販売

1955

1975

住宅を販売



バイオマス発電

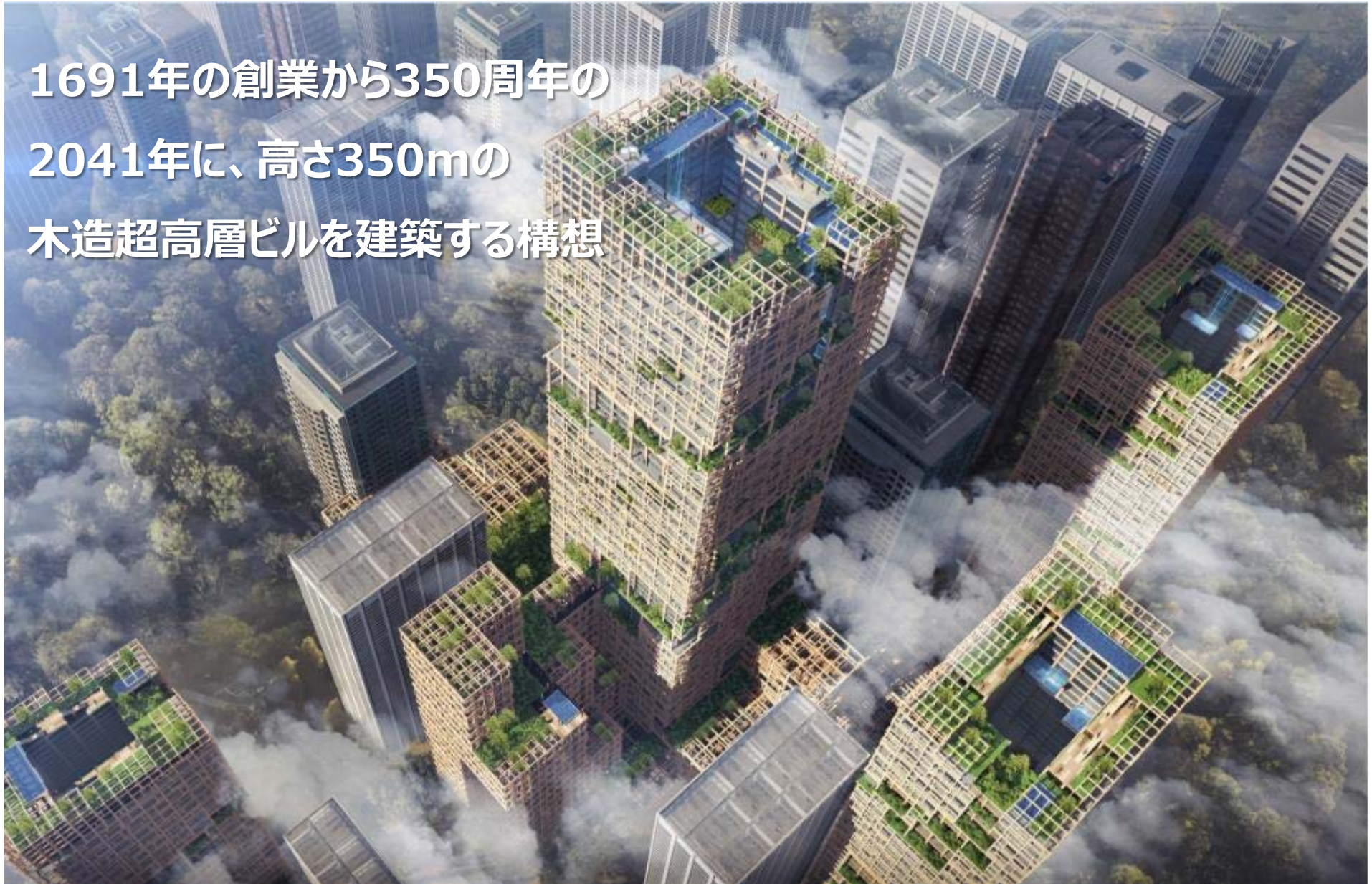
2011

2041



# W350計画

1691年の創業から350周年の  
2041年に、高さ350mの  
木造超高層ビルを建築する構想



画像提供：住友林業・日建設計

# 会社概要

<b>社名</b>	住友林業株式会社
<b>創業・設立</b>	創業1691年 設立1948年
<b>資本金</b>	32,672百万円
<b>従業員数</b>	連結：19,159名
<b>関係会社</b>	195社

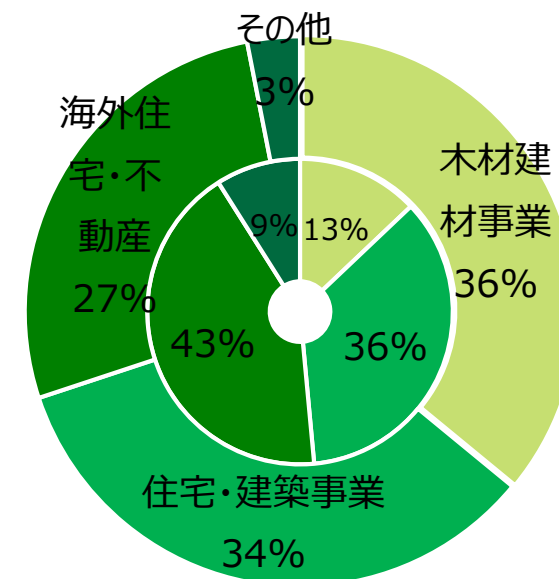
2019年3月31日現在

## ■ 経営理念

住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。

## ■ 行動指針

- ・お客様の感動を生む、高品質の商品・サービスを提供します。
- ・新たな視点で、次代の幸福に繋がる仕事を創造します。
- ・多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくります。
- ・日々研鑽を積み、自ら高い目標に挑戦します。
- ・正々堂々と行動し、社会に信頼される仕事をします。



**売上高 13,089億円**

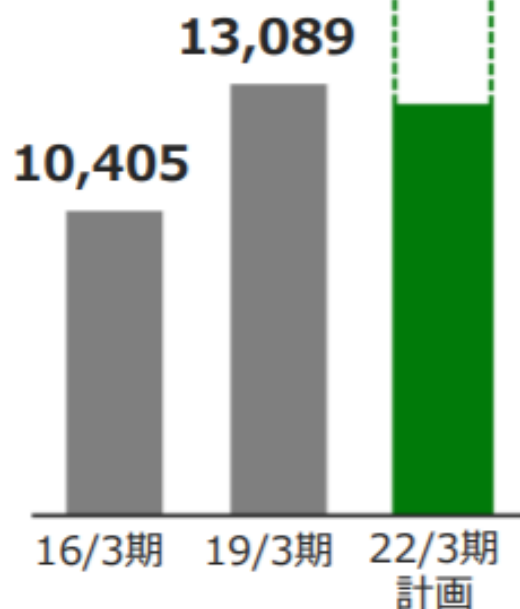


# 業績目標

さらに一段上のステージへと飛躍するための未来志向の戦略を各事業で推進。また、資本効率を高めつつ自己資本の充実も図る。

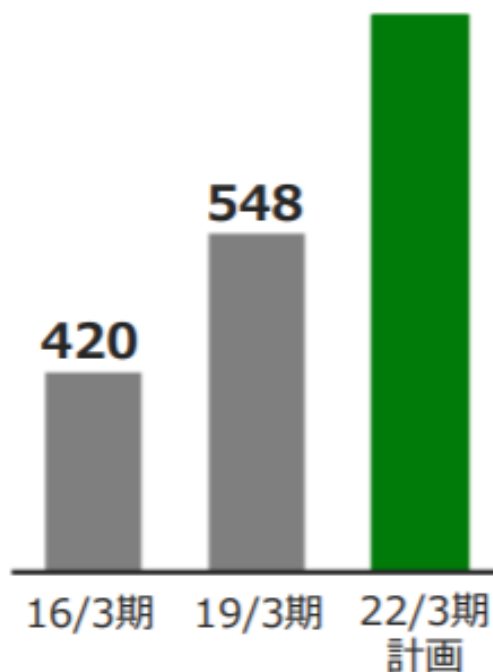
## 売上高

**12,600**億円  
(15,200※)



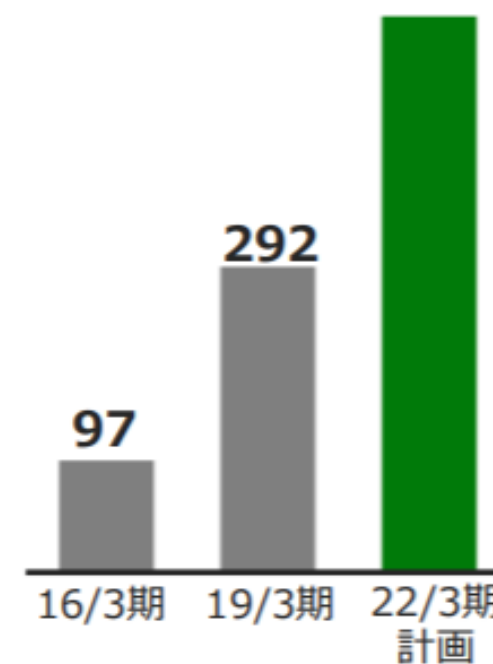
## 経常利益 (数理差異除く)

**850**億円



## 当期純利益

**480**億円



## 自己資本利益率 (ROE)

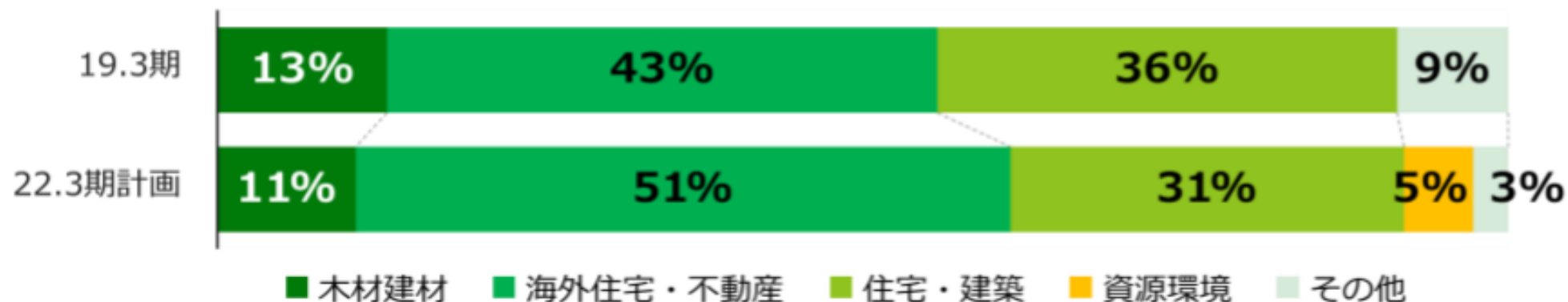
**10%以上**

※「収益認識に関する会計基準」等を適用する前の参考売上高

# セグメント別業績目標

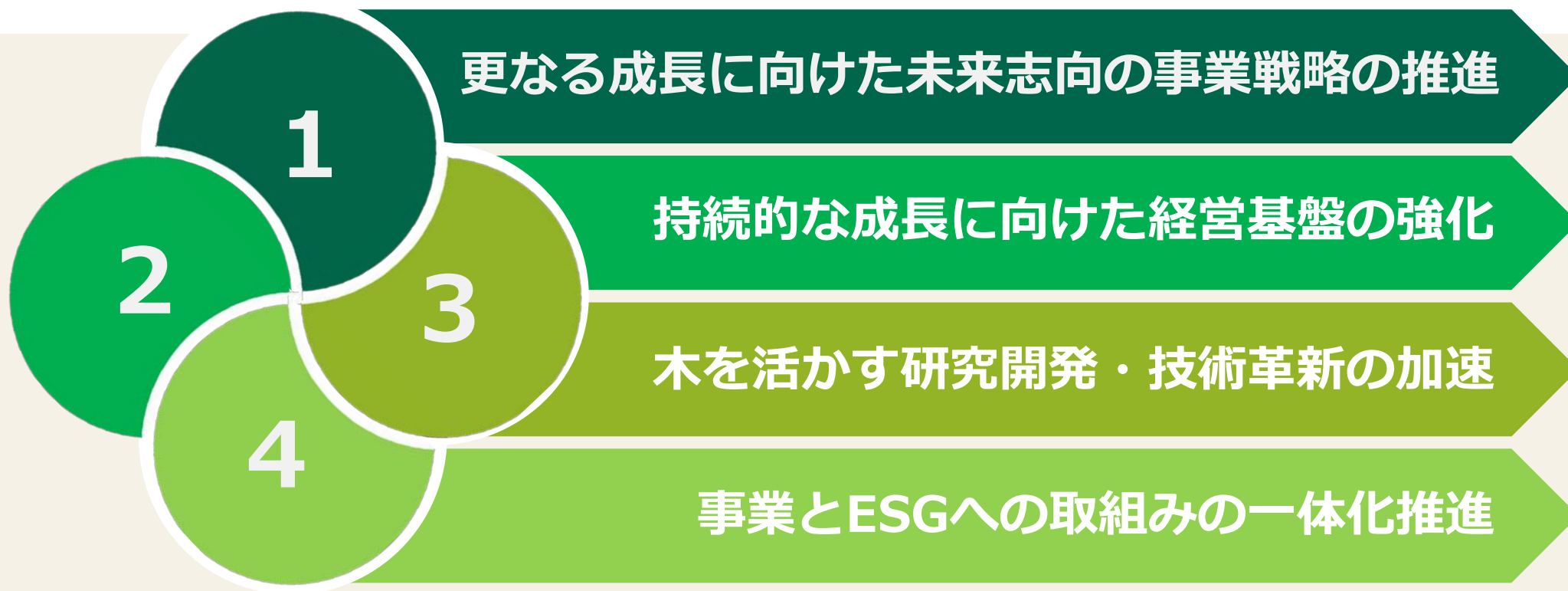
(単位：億円)	売上高				経常利益			
	19/3期	22/3期計画	構成比	増減率	19/3期	22/3期計画	構成比	増減率
木材建材	4,871	<b>2,660</b>	20%	△45.4%	80	<b>100</b>	11%	+25.3%
海外住宅・不動産	3,649	<b>4,700</b>	36%	+28.8%	258	<b>472</b>	51%	+82.9%
住宅・建築	4,528	<b>5,250</b>	40%	+15.9%	216	<b>284</b>	31%	+31.5%
資源環境	—	<b>230</b>	2%	—	—	<b>50</b>	5%	—
その他	404	<b>200</b>	2%	△50.5%	52	<b>25</b>	3%	△52.0%
調整	△363	<b>△440</b>	—	—	△92	<b>△81</b>	—	—
合計	13,089	<b>12,600</b>	—	△3.7%	514	<b>850</b>	—	+65.3%
				(参考) 数理差異除く	548	<b>850</b>	—	+55.1%

## 経常利益 構成比



## 未来志向のもと、新たな事業の創造と育成を推進

### 《 4つの基本方針 》



変化する時代の中で社会課題の解決に取り組み、4つの基本方針に基づいて経営基盤の強化と未来に向けた事業のさらなる推進を目指す。

# マテリアリティと15項目の目標

重要課題	目標	貢献するSDGs
持続可能性と生物多様性に配慮した木材・資材調達の継続	1 地球温暖化対策や生物多様性保全と両立する山林経営 2 持続可能な森林資源の活用拡大 3 持続可能なサプライチェーンの構築	    
安心・安全で環境と社会に配慮した製品・サービスの開発・販売の推進	4 環境配慮型商品・サービスの拡大 ※脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出量削減（SBT：スコープ3）を含む 5 生物多様性に配慮した環境づくり 6 社会課題の解決に貢献するビジネスの拡大 7 持続可能で革新的な技術開発の推進	     
事業活動における環境負荷低減の推進	8 脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出量削減（SBT：スコープ1・2） 9 資源保護および廃棄物排出削減とゼロエミッションの達成 10 水資源の節減・有効利用	   
多様な人財が能力と個性を活かし、いきいきと働くことができる職場環境づくりの推進	11 多様な発想と働きがいで活力を生む職場づくり 12 若年層育成と高齢者活用による人財の確保 13 働きかた改革による長時間労働の削減 14 労働災害事故の撲滅	  
企業倫理・ガバナンス体制の強化	15 リスク管理・コンプライアンス体制の強化	



# 循環する森林の管理と木材の利用



# 非財務情報の対外開示と外部評価

## 統合報告書発行



## CSRウェブ開示



## GPIF ESGインデックス



## イニシアティブへの参加・賛同



# 世界初のグリーンCB発行

## <発行概要>

- 社債種類 : ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債  
発行額 : 100億円  
発行日 : 2018年9月27日  
満期償還日 : 2023年9月27日 (発行日より5年後)  
利息 : 0%  
資金使途 : 2016年のニュージーランド山林  
取得資金のリファイナンス  
共同主幹事 : 大和証券  
SMBC日興証券  
野村証券

## <特徴>

グリーンボンド原則に即し、かつ大手  
評価機関 (Vigeo Eiris) よりセカンド  
パーティ・オピニオンを取得した  
世界で初めてとなる転換社債









## 世界初のグリーンCB発行



世界初となる形態のグリーンボンド発行を評価され、2019年3月、Climate Bond Initiativeより「Green Bond Awards 2019 - New Products」を受賞



ご清聴ありがとうございました。

